



# 俳句TVミニ講座 入門編

## 第1章 俳句の基礎



ここでは俳句を詠むための基礎を学びます。

A group of four diverse students are sitting around a table in a library, engaged in a study session. They are looking at a laptop and some papers. The background is filled with bookshelves. A semi-transparent blue overlay is on the left side of the image, and a semi-transparent red overlay is at the bottom left.

# 第1章 ～俳句の基礎～

第1章では、俳句の基礎として3つの柱を立てて説明してゆきます。



3つの柱とは

「凝縮性」「具象性」「普遍性」

この三本柱が俳句の基本です。

# 第1章 ～俳句の基礎～ No 3 普遍性

俳句の三本柱の一つ「普遍性」は俳句の鑑賞や研究、そして普及に必要な柱です。

# 普遍性とは？

俳句は鑑賞したり鑑賞されたりし合いながら、読者としての共感以上に、その俳句を**共有**し理解してもらうために普遍性が必要です。

普遍性がある俳句は、解りやすく多くの人に広まりやすく、伝承しやすいものです。

## 例句

ちるさくら海あをければ海へちる  
高屋窓秋

この俳句は「海」のリフレインが効果的です。桜のピンク色と海の青さ。この対比は、読者が共有できる美しい光景です。

## 句の解釈

季語は「さくら」春。

海は青く広々と続き、そこへ桜が散っている。そして海が青いから海へ散るという表現に作者の想いが感じられます。青い海だからピンクの桜は舞い散るという美しい俳句です。

A composite image featuring a group of diverse people walking in a field under a blue sky, and a stack of books and a notebook in the foreground. The text is overlaid on a yellow banner.

それでは次回は～俳句の鑑賞～です。  
お楽しみに！